



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Funado-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN  
 Mail : [freedomism@nifty.com](mailto:freedomism@nifty.com) Phone : 0797-38-4936  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」  
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"  
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」  
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"  
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」  
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、  
 "Let Y'smen Light Shine before Others,  
 in the club, in the community, in the world"  
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」  
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」  
 "With the heart filled with creative evolution.  
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"  
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」  
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒  
 直前会長 都筑省三  
 副 会 長 羽太英樹・堤 清  
 書 記 桑野友子・福原吉孝  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)  
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

6

June, 2013  
 第 193 号

## 今月の聖句

「するとイエスは言われた、『それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい』。彼らはこれを聞いて驚嘆し、イエスを残して立ち去った。」

マタイ福音書 22:22

## 6月第1例会プログラム

と き: 2013年6月19日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3F  
 司 会: 渡辺倫子 (敬称略)  
 受 付: 羽太英樹・藤川晃成

1. 開会点鐘 島田 恒会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹
4. ゲスト・ビジター紹介 渡辺倫子
5. 「みどり基金」贈呈式 島田 恒会長
6. 食前感謝 都筑省三
7. 食事・歓談 渡辺倫子
8. 会長スピーチ 島田 恒会長  
 「アベノミクスの可能性と問題」「この一年の振り返り」
9. 1) 第2例会議事録の承認 島田 恒会長  
 2) 事業委員報告・その他 各委員 & メンバー  
 3) 次期ネット主査主催アート展 羽太英樹次期会長
10. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
11. ニコニコ献金報告 福原吉孝
12. 誕生祝い 島田 恒会長  
 上野恭男・桑野友子
13. 閉会点鐘 島田 恒会長

## 「この一年を振り返って」

会長 島田 恒

「もう早や終わり?」「やっと終わり?」会長任務の終わりに当たって両方の気持ちが入り混じっている。皆さまのご協力に感謝しつつの一年であった。

ワイズの活動の原点は、社会や人々に対して貢献しようとする運動体であると考えている。ジョージ・ウィリアムズのYMCA創設もそうであったし、ワイズメンズクラブもその原点を支援すべく創設されたのであった。「ワイズの楽しさ」も、仲間内の交流の楽しさもさりながら、社会や人々に貢献する仲間としての絆が原点にあるのだと考えている。

運動体としての成果は、先ず外側・市民を対象としなければならない。われわれは、YMCAと協力してチャリティラン、留学生交流会、街頭募金などで実践してきたところである。このような思いをもって、15周年の記念会は、社会や人々に人生の大切なメッセージを発信し、交流の楽しさを味わっていただくことに留意した。数々の壁や心配を超えて一定の反響をいただいたことはうれしいことであった。ここから、新しく仲間に加わってくださる方があれば新しいよこびである。

われわれには完成はない。及ばずとも前のものに向かって進み、ワイズを通して一回だけの人生を充足させていきたいと思う。一年間有難うございました。

## 5月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	12名	出席者	12名	
ビジター	名	メイクアップ	1名	
ゲスト	7名	合計	13名	ニコニコ (累計) 11,500円 (139,814円)
メネット	1名	在籍者	18名	
合計	20名	(内広義会員 1名)	出席率 76.5%	

## 5月第1例会報告

日時： 5月15日(水)19時～21時

場所： ホテル竹園

司会： 藤田 良祐 (敬称略)

出席者： 五十嵐政二、五十嵐かほる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権甲植、島田恒、都筑省三、羽太英樹、福原吉孝、藤川晃成、堀江哲次、藤田良祐(連絡主事)(メン・ウイメン・メネット13名)

ゲスト： 西義人(賀川記念館参事)、吉川洋子(タイワークキャンプ参加リーダー)、正福安男(上野メン友人) 篠坂幸彦、神野啓子、畠中由圭、高木見代(以上4名は講演会参加者)

芦屋ワイズメンズクラブ15周年記念講演会へご参加をいただいた方々を含め7名のゲストを迎え賑やかな雰囲気の中、島田会長の開会点鐘で例会が始まりました。五十嵐メン作成の新しい歌詞カードを手にはワイズソングを斉唱し、羽太メンによる聖書朗読、ゲストの紹介がされました。その後、タイワークキャンプへ参加した吉川リーダーより、キャンプを通して「当たり前にあることへ感謝をすること」に気づいたことや、様々な人々との出会いを通して多くの学びがあったことが、ご支援いただいたことへの感謝と合わせて報告されました。

羽太メンによる食前感謝の後に食事と歓談の時を持ちました。

食事後は、賀川記念館参事の西義人氏より「引き継がれる

賀川豊彦の  
ころ」と題し  
ゲストスピー  
チをしていた  
だきました。  
賀川豊彦氏  
が活動を開  
始された頃の  
歴史的背景、  
またその時代  
にあって社会



的弱者とされていた方々のために、賀川氏が「貧しい人たちが安心して暮らせる社会のしくみ」を作ろうとしていたことを中心にお話をお伺いしました。賀川氏の原点は「愛」と「協同」であり、その活動は現在にも受け継がれており、その一つとして神戸YMCAもご紹介いただきました。

第二例会議事録承認、各事業報告、ニコニコ献金報告、誕生祝いを行った後に、司会者よりYMCA報告としてリーダー委嘱式支援のお願いとユースプラザ講演会の案内がありました。例会の最後に島田会長より「東日本大震災復興支援募金のお願い」について説明があり、福島の子どもたちを余島キャンプへ招待するための募金への協力が呼びかけられました。少し定刻を過ぎましたが閉会点鐘をもって5月第1例会を終了しました。

藤田良祐

## タイワークキャンプ報告

第30回タイワークキャンプは、3/14日本出発、3/15,16サオヒンYMCAでの環境プログラム、ストリートチルドレンプログラム、

3/18 24梅ーホンソン県梅ーサリアン群でホームステイしながらのワーク、3/25 観光という内容でした。

ワークキャンプを通して「当たり前」のありがたさ、「伝える」ことの大切さを痛感しました。友だちがいることのありがたさ、話を聞いてくれる人の存在のありがたさ、自分の想いを分かろうとしてくれる人がいること、そしてその存在のありがたさを実感しました。



タイでの2週間の生活を通して、言葉は通じなくても、言葉では表すことのできない信頼関係をタイ人キャンパーたちと築くことができ、私にとって大切な存在となりました。一緒にキャンプに参加した日本人キャンパーたちも、感じたことを日々話し合ったりしていくなかで、とても大切な存在になりました。

隣に当たり前のようにいてくれる友人、家族、私に関わってくれる人たちが、本当はとても大切だと思い、これから人との繋がりを大事に、そして常に相手がいることに感謝しながら生活していきたいと思えます。

タイワークキャンプに参加させていただき、例会で報告の時間をいただき、ありがとうございました。

三田YMCAリーダー 吉川洋子

## 第28回神戸YMCAチャリティコンペに参加して

5月15日(水)千刈カンツリー倶楽部にて開催された。当日の天候は晴れ、少し暑さがあるが絶好のゴルフ日和であった。参加者は48名、アウト7組イン7組に分かれスタートした。芦屋クラブからは上野メン、柏原ウイメンと福原が参加し一緒にラウンドしたのは高井様(女性)でインー組目のスタートであった。ゴルフラウンドでは思うようなショットが出来ず、こんなはずではない・なぜだろうと悩みながらのプレイが多く中々難しいスポーツと思う。ただナイスショットをした喜びと気持ちよさが忘れられずゴルフを楽しんでいる。参加者も日頃の腕自慢を発揮しようと大いなる意気込みで参加したと思う。

芦屋クラブからの上野メンはティショットの飛距離は見事であるが、今回はセカンド、アプローチに結果が出ず、日頃の実力が発揮できず不本意な成績であったと思う。

柏原ウイメンは華麗なゴルフファッションで参加者の注目を浴びていたが、素晴らしいティショットでありながら、アプローチ、パターに苦労し悩みながらのラウンドであった。

高井様のショットは早打ちながらアプローチで的確にグリーンを捉え、女子の総合成績で第三位となった。一緒に周ったキャディさんが明るく、優しい方で、スイングの改善ポイント、ゴルフクラブの選択等的確なアドバイスがあり、笑いの中で賑やかに楽しくプレイが出来た。

さて、小生の結果であるが、45、48でグロス93であった。今回はダブルペリア方式で、20.4の幸運なハンディに恵まれ、ネット72.6で3位であった。コンペのベストグロス75であり、80台の成績の方が多く、レベルの高いコンペであった。

表彰式では、米30k、果物、コロッケ等豊富な景品が準備され、ワイワイ賑やかな表彰式となり、全員に景品が配られた。小生は第3位で牛肉をゲットし大変嬉しく頂いた。今回お世話して頂いた実行委員の方々、本当に嬉しいコンペ有難うございました。  
福原吉孝

## 西宮ワイズメンズクラブ65周年記念例会 おめでとうございます。

5月18日(土)夙川沿いにある日本福音ルーテル西宮教会までのそぞろ歩きは五月の若葉と河川に泳ぐ鯉のぼりを楽しみながらすでにアヤアヤと交流の始まりです。

第1部は市原正幸牧師より明日のペンタコステ祭と西宮クラブ誕生を祝して、祭壇には年に2回だけ使われるという赤とゴールドの掛布も華やかで厳かな雰囲気の中、肅々と式典が執り行われました。長井会長から65年の歴史が説明されました。現在、YMCA支援や活発なボランティア活動をメン・メネット共にされ佳き昔のワイズの名残と新しさを兼ね備えられたクラブにも紆余曲折の時期があった歩みを知り、改めて伝統の重みを感じたものです。

第2部は例会場所の西宮幼稚園で記念感謝会・茶話会。



入会式が行われ、水野総主事・部長挨拶から65周年とあわせて入会式の祝辞が述べられました。オカリ

ナ演奏やギター伴奏とリーダーのキャンプソング、リラックスモードの中で記念撮影、第3部は徒歩充分の中華飯店で大宴会！、広島や近江八幡、親クラブ大阪クラブの方々との再会も嬉しくほとんど声が聴こえない賑やかさでしたが、皆様とても盛り上がりおられました。ゲスト・ピジター24名、西宮YMCAとリーダー・ワイズは親クラブ、DBCクラブ各1名、六甲部からは10名、西宮クラブはメン・メネット24名の参加でした。

柏原佳子

## 宝塚ワイズメンズクラブ25周年記念例会に参加して

5月25日(土)宝塚ホテルにて開催された例会に芦屋クラブメンバー(都築、上野、桑野、柏原メン)の4名と参加致しました。第一部の記念式典では、周防大島教会の辻建牧師より「畑を買う預言者」題してお説教がありました。先生は最後に山形孝夫の「黒い海の記憶」という本を紹介され、大変感動されたと話されました。興味を持って本を調べてみますと、その紹介文には「東日本大震災で肉親を、友を亡くした人々の悲しみに宗教とどう向き合うのか。海底に沈む死者と生者を取り結ぶ心の通路は、死者の無念と向き合い、死者を思い悲しむという祈りによって開かれる。宗教の根源を考察する思索的エッセ



イである」と。いつか是非読みたいと思いました。

式典の最後は、中川智子宝塚市長、水野雄二神戸YMCA総主事、高瀬稔彦西日本区理事代理の三名より祝辞をたまり、いよいよ第二部、細川佳代子氏の記念講演です。本日の会が200名を超える列席者を迎え、大盛況であった理由の一つに講演者の知名度による働きもあったかも知れません。私も大変興味がありました。

細川氏の「インクルージョン社会をめざして」と題する講演の内容は氏が公益財団法人スペシャルオリンピックス日本の名誉会長となり、NPO法人勇気の翼インクルージョン2015の理事長となるまでのボランティア活動に捧げた経緯と奮闘努力の体験を熱く語るものでした。スペシャルオリンピックスという言葉は私は、アゲイン 熊本童謡館 中村勝子氏 スペシャルオリンピックスという経路で知ってはいたものの詳しい中身まで知りませんでした。

世の中の障害者と言われる人は、知的障害者、精神障害者、身的障害者の3つに分かれるという。この内の知的障害者とは脳に障害を持つ人で生まれつきであれ、後天的であれ治療不能の障害、自閉症やダウン症などの障害をいい、日本の学就者の6.5%が発達障害と言われているそうである。この知的障害者に対しては社会がほんの少し理解を示して、心を開き、手を貸してあげるだけで誰もが社会に参加出来て、我々と共に働いて、結婚もし、普通の社会生活を送ることが出来るという。そういう社会づくりを目指して行くのが氏の目標であり活動であると語られました。

元首相夫人という立場ではなく、ミッション、ビジョン、ファッションの3つのシヨンを実践される女性の清々しい涙と笑いと力にあふれた感動のお話でした。そして最後に年間自殺者世界一の国日本、競争社会を推進するこの国は一番大切なものをあきらめかけていると。  
渡辺倫子

### 六甲部だより

6月になり、六甲部部長のお役もあとわずかとなりました。キャビネットの柏原書記、桑野会計、加輪上事務局長、藤田連絡主事に謝意を表するとともに、ホストクラブとして評議会、部会などサポートをしていただいた島田会長をはじめ、芦屋クラブの皆さんにお礼申し上げます。

5月末には、柏原書記宅をお借りしてキャビネット感謝会を開催し、加輪上ワイズとも楽しい時を過ごしたことを申し添えます。  
2012-13年六甲部部長 上野恭男

## 5月第2例会議事録(抄)

場 所： 芦屋市民センター 206号室

日 時： 2013年5月22日(水) 19:00～21:00

参加者： 島田会長、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、福原、藤田、堀江 (敬称略)

### 議 事

6月第1例会(6/19)はホテル竹園芦屋に於いて15周年記念講演会でワイズに興味を示した人々の参加を期待して、

島田会長のスピーチ「アベノミクスの可能性と限界」と「今期の振り返り」

次期羽太会長の計画/方針は7月キックオフ例会でおこなう

4月度会計報告がさくら祭り収支明細書及び15周年記念講演会決算書と共に羽太会計から出され、承認  
西日本区大会(6月22/22日 名古屋)への参加者は、五十嵐、五十嵐M、上野、柏原、桑野、島田、羽太、羽太M、福原、渡辺(各メン・ウイメン・メネット)の10名で、上野部長、島田会長を除いて各自5,000円の支援金を支給する。

東日本区大会(6月8/9日 盛岡)への参加者は、上野、柏原、桑野(各メン・ウイメン)の3名で他に神戸ポートクラブの小田メンも同行する。芦屋クラブ3名には10,000円の支援金を支給する

次年度活動方針・計画が羽太次期会長より出された。これについては6月第2例会で再度話し合い、次年度の会長方針・計画を決定する

記念例会のゲストでアンケートに答えた人は3ヶ月間ブリテンを送付、クラブ全員でフォローする

その他

ロースターの校正を行った。(必要冊数は4冊)

次年度における広義会員、休会会員、青年会員の在り方については継続審議とする。

尚、中野メンについては島田会長がコンタクトして中野メンの意思を確認する

来期のブリテン印刷は芦屋活動センターにて行う  
桑野友子(書記)

### YMCAニュース

藤田良祐(YMCA連絡主事)

創立記念日礼拝、開催

今年は神戸YMCA創立127周年の年ですが、その創立された日である5月8日(水)に創立記念日礼拝を開催しました。今年に関西学院大学宗教主事である山本俊正先生(神戸YMCA国際委員)に「神の呼びかけに応え

るYMCA」と題してメッセージをいただきました。私たちはいつも神からの呼びかけを受けていて、その呼びかけに応える責任がある。かつて多くの先人がその呼びかけ(声)を聴き、決断し、働いてきたのが127年の歴史ではないか。神の声を聴いた時、常識を超えたビジョンが与えられるというお話でした。

第28回チャリティーゴルフ大会、開催

5月15日(水)に三田市の千刈カンツリー倶楽部を会場開催され、48名が参加してくださいました。絶好のゴルフ日和で、紫外線はきつかったものの木陰では涼しい風が吹き、気持ちの良い一日でした。これは青少年指導者養成基金のためのチャリティーですが、同時に子ども奨学金、また東日本大震災への募金としても活用され、第1回からの通算では600万円を越す募金が寄せられ、今回の分が加えられることとなります。神戸YMCA会員以外の方も多く、楽しい一日を過ごしていただきました。

ボランティアリーダー委嘱式、開催

5月19日(日)に、ボランティアリーダートレーニングと今年度の委嘱式が開催され、多くのリーダー、ディレクターが参加しました。開会礼拝は、水野総主事から「地の塩、世の光」について奨励をいただき、その後、ゲストの森本崇資さんから「ボランティア」についての講演があり、午後はそれを受けてグループワークがなされました。第30回タイワークキャンプの報告の後、水野総主事から各リーダー会代表の方々に委嘱状をお渡しいただきました。多くの若いリーダーの皆さんが神様からの仕事を委ねられ、地の塩、世の光として働いてくださることを神戸YMCAの宝とし、誇りに思います。

### 今後の予定

第31回午餐会

国際港湾都市として発展してきた神戸には多くの外国人が違った宗教をもってコミュニティを形成してきました。その歴史を辿りながら異なった宗教が共存してきた街、神戸について学びます。是非、ご参加ください。

日 時： 7月6日(土)正午～午後2:00

場 所： 神戸YMCA 4階 会議室

テーマ： 「ミナト神戸の宗教とコミュニティ」

講 師： 徐 亦猛(ジョイモン)さん

会 費： 1,500円(昼食代含む)

編集後記：

今期開催された15周年記念講演会は盛会で参加者の皆様にはクラブの良いメッセージを届けることができたのではないかと思います。これを機会に新しいメンバーが増え、活気溢れるクラブとなることを期待します。この1年、桑野友子ウイメンとともにブリテン編集に携わり、皆様から暖かい支援を頂くことが出来ました。厚く御礼申し上げます。  
堀江哲次